

## ごあいさつ

平素より私ども南都銀行グループをご利用、お引き立ていただき誠にありがとうございます。

このたび、皆さまの当行に対するご理解を一層深めていただくため、2019年9月期の営業の概況等をお伝えする「ミニディスクロージャー誌／第132期 営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

「平成」から「令和」へと新たな時代を迎えた節目の年、当行は本年1月に前身である「第六十八国立銀行」の開業から数えて創業140周年、6月には当行設立から85周年を迎えることができました。これもひとえにお取引先や株主の皆さまをはじめ、多くの方々の温かいご理解とご支援の賜物と、深く感謝申し上げます。

我々地域金融機関を取り巻く環境は、異業種の参入や超低金利政策の長期化、さらにはデジタル技術を活用した新たな金融サービスの台頭等により、過去に経験のないさまざまな課題に直面しております。

そのようななか、私どもは、昨年度の「壊せ、南都。」から今年度は「生み出せ、南都。」をテーマとし、5年後、10年後の南都銀行を見据え、従来の既成概念にとらわれることなく思い切った「改革」を強力に推し進めております。

特に中期経営計画最終年度の今年度は、地域やお客さまの抱える真の課題に対し、当行の総力をあげてあらゆる側面から解決策を考え提案し、解決するまで寄り添う真の「コンサルティング営業」や、中長期的な安定収益と資産形成を追求する「有価証券運用の確立」、マーケットや店舗採算等も勘案しながら、より踏み込んだコスト削減を目指す「店舗・ATMネットワークの見直し」等に取り組んでおります。

地域金融機関を取り巻く環境は厳しいものの、当行の将来のビジネスモデルの構築に向けた方向性や道筋は開けています。

役職員一同持てる力を最大限発揮し、南都銀行ならではの新しい価値を「生み出せる」銀行となることで、地域やお客さまに選んでいただける銀行を目指します。引き続き、皆さまからの格別のご支援とご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2019年12月

取締役頭取

橋本隆史